

やまがたし てら あたら はじ  
山形市の寺で、新しいサービスが始まりました 「あるもの」がた

あつ てら  
くさん集まる寺のサービスです

かほくしんぼう にほんご ねん がつにじゅうよつか  
河北新報やさしい日本語ニュース 2024年1月24日

にほん かね こうか さつ こうか えん えん まる かたち  
日本のお金は硬貨とお札があります。硬貨は10円や100円など丸い形

かね さつ えん まんえん かみ かね  
のお金です。お札は1000円や1万円などの紙でできたお金です。

えん こあつ まんえん ぎんこう も  
10円を1000個集めると1万円になります。でも、それを銀行に持って

い かね い まんえん か こうか  
行っても、ただ（お金が要らないこと）で1万円に替えてくれません。硬貨が

おお ぎんこう てすりよう かね と こうか ぎんこう  
多いと、銀行は「手数料」というお金を取るのです。たくさん硬貨を銀行

あず さつ こうか か てすりよう い  
に預けたり、お札を硬貨に替えたりするときも手数料が要ります。

にほんじん てら じんじゃ い はこ かね い ねが かね  
日本人は寺や神社に行くと、箱にお金を入れてお願いをします。そのお金

を「さいせん」と言います。さいせん えん えん こうか おお  
を「さいせん」と言います。さいせんは5円や50円などの硬貨が多いです。この

ため、てら じんじゃ こうか あつ ぎんこう あず  
ため、寺や神社には、たくさん硬貨が集まります。でも、それを銀行に預け

るときには、てすりよう はら  
るときには、手数料を払わなければなりません。

やまがたし りゅうしょうじ じゅうしょく てら いちばんうえ ひと ひがしたにともひこ  
それで、山形市にある隆勝寺の住職（寺で一番上の人）の東谷智彦

さん（31さい）は あたら はじ てら こうか つか  
さん（31歳）は新しいサービスを始めました。寺にたくさんある硬貨を使

って、さつ も ひと か とく みせ  
って、お札を持ってきた人に、ただで替えてあげるサービスです。特にお店は、

つか こうか い みせ かんが  
おつりに使う硬貨が要るので、お店のためになると考えました。

がつ にち はじ やまがたし はたら あび こかずき  
1月17日にサービスを始めると、山形市のレストランで働く安孫子和起

さん（26歳）が来ました。安孫子さんは「お札で払う客が多いので、おつりを用意するために、毎日、銀行に行っています。銀行は手数料がかかりますが、ここは要りません。待っている時間も短くて、とてもうれしいです」と話しました。

同じようなサービスは、大阪にある神社などでも行っているそうです。しかし、東北では珍しいということです。

東谷さんは「さい銭には、お願いをする人の気持ちが入っています。それが手数料になるのを、とても悲しく思っていました。このサービスをすることで、いろいろな人に寺に来てもらえればいいと思っています」と話しています。



【河北新報社提供】



## やってみましょう

ぶんよんで、ただしいものに○、ただしくないものに×を書いてください。

- ① ( ) 日本のお金は、丸い形の硬貨と紙でできたお札があります。
- ② ( ) 銀行にたくさんの硬貨を預けても、手数料はかかりません。
- ③ ( ) 寺や神社の「さいせん」は、お札より硬貨の方が多いです。
- ④ ( ) 隆勝寺が始めたサービスは、日本で初めてのサービスです。



## 書きましょう

\_\_\_\_\_市にある隆勝寺で、\_\_\_\_\_サービスが\_\_\_\_\_ました。寺にあるたくさんの\_\_\_\_\_を使って、お札を持ってきた人に、ただで\_\_\_\_\_あげるサービスです。\_\_\_\_\_で働く安孫子さんは「おつりを\_\_\_\_\_するために毎日、銀行に行っています。銀行は\_\_\_\_\_が要りますが、ここは要らないので、とても\_\_\_\_\_です」と話しています。



## 話しましょう

1. あなたが行ったことのあるお寺や神社はどこですか。そこに行ってどう思いましたか。
2. あなたの国ではどんなお金を使っていますか。デザインはどうか、紹介してください。